

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

JFEケミカル株式会社 西日本製造所 笠岡工場 [福山地区]

(2) 事業所の所在地

〒721-8510 広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

その他有機化学工業製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、令和2年度を基準年度とし、令和3年度から令和7年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和2年度 (2020)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
エネルギー 起源CO ₂	31,781	37,778 (18.9)	33,099 (4.2)	31,515 0.8	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	31,781	37,778 (18.9)	33,099 (4.2)	31,515 0.8	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	基準年度と比べ処理量増 (149⇒152千トン t/Y) となったが、 大型炉の長期停止工事を行ったため固定用役割割合が減り、総排出量は0.8%減となった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：装入量(千 t)

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和2年度 (2020)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
エネルギー 起源CO ₂	214	203 4.9	198 7.1	207 3.2	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	214	203 4.9	198 7.1	207 3.2	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	137	130.1 5.0	122.2 10.8	133.8 2.3	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	基準年度と比べ処理量増 (149⇒152千トン t/Y) となったことに加え、 大型炉の長期停止工事を行ったため固定用役割割合が減り、原単位が3.2%改善した。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	設備高稼働維持によるCガス、電力原単位改善	860tCO2/年 削減	設備を高稼働維持することで、固定用役の寄与影響を小さくする。
2	廃酸中の水分の低減によるCガス削減	200tCO2/年 削減	発生する廃酸中の水を削減することで、廃酸を処理する際のCガスを削減する。
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合计量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。